

平成29年度目黒区障害者自立支援協議会学習会

研修名	講師名	目的	内容
<p>子どもにやさしいまちを創る ～多様な子どもひとり一人を支えていく地域の再構築～</p> <p>10月16日(月) 10時 於 あいアイ館</p>	<p>早稲田大学 教授 喜田 明人氏</p> <p>目黒区での取り組み ・めぐろチャイルドラインを作る ・目黒区子ども条例の制定 ・めぐろ子ども支援ネットワークを作る</p>	<p>目黒区に在住で、区内でも様々な活動をされている中での話を聞く。 支援者の私たちが地域で様々な家庭を支援していくにはどのような視点が必要かなどを考える。</p>	<p>区内での取り組みの話を聞く。その中で学校や家庭の限界を地域がどのようにカバーし、再構築していくかをグループワーク形式で考えていく。</p>
<p>感覚統合について知る(仮)</p>	<p>作業療法士 木村 順氏</p>	<p>集中力がないじっとしてられない、興味関心がない集団行動が苦手など問題行動といわれる行動には理由があつてその理由のほとんどが感覚からくることだと言われています。 問題行動をしてしまう原因や関わり方を知るだけでより本人の気持ちが理解でき、日常生活が快適に過ごせる為のサポートにつながる。</p>	<p>基礎の話の講義 相談支援専門員として知っておくべき内容を主に話してもらう。</p>

<p>医療的ケア児の地域での対応に関する協議の場作りと総合的な施策作り</p> <p>30年2月21日（水） 14時～ 於 区役所研修室</p>	<p>地域ケアさぼーと研究所 下川和洋氏（元特別支援学校訪問学級教諭）</p>	<p>目黒区でも平成30年からスタート予定の医療的ケア児に関する協議の場の具体的なあり方について学ぶ。併せて必要な地域の総合的な施策のシステム作りについて学ぶ。</p>	<p>様々な地域との連携を行っている講師から全国の具体的な話を聞いて、目黒区の施策の参考にする。</p>
<p>どうしたら、福祉職場への職員は定着できるのかを考える</p>	<p>みずき福祉会理事長 阿部美樹夫氏</p>	<p>区内の障害者施設もヘルパー事業所も職員を募集しても集まらない、定着しないという状況は変わらないという。どうしたら、福祉職の仕事の魅力を伝え、生き生きと定着して働き続けることができるのか講師とともに考える。</p>	<p>離職率3%以内を保っている法人の理事長から具体的な取り組み状況を聞く。</p>